

第20回 東京湾シンポジウム

～これまでの東京湾を振り返り、今後の東京湾を考える～

2019年10月17日(木)

横浜港大さん橋国際客船ターミナル 大さん橋ホール

主催：国土交通省 国土技術政策総合研究所

後援：東京湾再生市民連携フォーラム、東京湾の環境と未来を考える市民活動の会



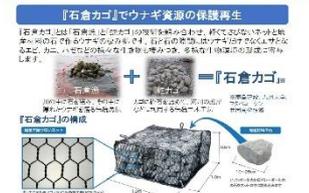
東京湾大感謝祭

「河川管理者と地域連携の多自然鰻川づくり」として静岡土木との協働活動である庵原川PJ活動等についてパネル展示。

1. 高濃度ワレコへ含有海藻の効率的投油による富栄養化対策
株式会社シンコーテック 岡本優
2. 海への恩返しプロジェクト ～Return a Favor to Sea～
日本海工株式会社 増田恵和
3. 藻場の再生及び赤潮対策
株式会社グリーンカルチャア 上田寛子
4. ステンレスボタルのレンタルサービス『Depla β oyage』
株式会社東京久栄 坂本純香
5. Hi ピーズ (石炭灰造粒物) を活用した沿岸域での底質改善事業への取り組み
中国電力 (株) 電源事業本部 石炭灰有効活用グループ 中本健二, 清重直也
6. 東京湾における多様な生物の生息を目指して
東亜建設工業株式会社 田中ゆう子
7. 東京湾の天然ウナギ増をめぐって～うなぎにやさしい川づくりのとりにくみ～
いであ (株) 池田宗平, 木下裕士郎, 増子沙也香
8. 天然ウナギ自然の保護再生デザイン 石カゴの活用事例
(株) フタバコーケン 伏見直基
9. 天然ウナギ資源の保護再生デザイン 静岡発、河川管理者と地域連携の「多自然鰻川づくり」
(株) フタバコーケン内いほら川再生PJ会 伏見直基
10. 京浜運河におけるコアマモ群落再生の試み
五洋建設 (株) 環境事業部 中瀬浩太
11. 高分解能人工衛星画像による東京湾のモニタリング
一般財団法人リモート・センシング技術センター 荒井頼子

天然ウナギ資源の保護再生デザイン 静岡発、河川管理者と地域連携の「多自然鰻川づくり」

【目的】静岡県では、治水工事でウナギ共存の実用を目的とする河川構造物の改修工事が2017年から始まり、その概要と進捗状況を紹介する。
【方法】2017年5月静岡県静岡土木事務所では静岡市内清水区内を流下する2級河川庵原川(庵原地区)での河床修繕工事で、洗濯防止と根固め機能を持ち、ウナギとその餌料生物の棲み処を提供できる唯一の石倉カゴ(ポリエステルモノフィラメント線電甲網蛇カゴ)の試行設置が行われた。そして設置後のカゴ管理と洗濯防止とウナギ等の生息調査を県土木と庵原地域の有志「いほらの川再生PJ会」が連携し行った。



工事の内容(静岡土木事務所)
H29、30年度 二級河川庵原川 石倉カゴ等設置工事



この様に、石倉カゴを活用した治水対策と「多自然鰻川づくり」が静岡で進んでいる。それは今提唱されている治水を含む防災減災と持続的な自然からの恩恵を両立させる方法としてのEcosystem-based Disaster Risk Reduction (ECO-DRR) を具現化したものである。

【問い合わせ先】
いほらの川再生PJ会
〒424-0943 静岡県静岡市港町1-6-4(柳フタバコーケン内) TEL 054-352-1116
E-mail: fushimi-1@futaba-k.co.jp https://www.facebook.com/iharariver.rpj/ 代表: 伏見